

2024年11月のブルーベリー農園その2

秋の祭りがすんで、11月の前半は安芸区周辺の地域の行事がたくさんあって安芸の郷もあちこちに出店するのでブルーベリージャムや天然酵母パンの製

造と販売に利用者とともに精を出す季節。これらのいくつかの行事の手伝いをしてその合間に安芸区に自宅から東広島市豊栄町のブルーベリー農園にブルーベリー栽培に出かけている。農園は静かな秋、深まりゆく秋の景色で、行くとたびにほぼ毎回見かける細長くて黒っぽい蛇や、キジの鳴き声を近くに聞きながら農作業を続ける

11月8日(金) 農園が管理しているため池の堰堤の草刈りを2人がかりで行った。シダなどは腰の高さまで伸びていた



11月12日(火) 木を切る作業を続ける。ガマズミの赤い実

11月11日(月) 9日と10日は会議や行事があり農作業はなして、11日に農園に来てみるとところどころに幟旗が立っていた。開催は16日(土)らしい



11月13日(火) 農園に着いて最初に花壇のアヤメを掘り上げ株分けをし、頂いたグラジオラスと一緒に植え替えを行う。草の下にカエルがもぐっていて冬支度の邪魔をしまった



里山のブルーベリー園の周囲の伸びた木を切る作業に入っている。ヤマツツジが季節外れに咲いている



ブルーベリー園が日陰になるので里道そばの木を切る





太い枝を2本切り片付けをして、残りの枝は明日に回す。無理は禁物



柿の木が薄赤く染まる



同時並行で野焼きも行つ



ブルーベリー畑の地べたには草の緑が広がりちよこんとブルーベリーの株元に植えたマリーゴールドがなじんでよく咲いている



別の場所で小さい木の伐採に取り掛かる。里道の横は田んぼや畑では4時前の傾いた日差しに又スキヤ、



2024年11月15日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2024年4月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》